

第4章 ヒアリング調査結果

《千葉銀座商店街振興組合》

代表者名	理事長 福井 昌一
所在地	千葉市中央区中央 2-5-1
電話番号	043-222-9736
設立年月	1947年4月 (法人化) 1963年8月
街区延長	200m (幅員 12m)
構成員数	会員 98名
立地形態	繁華街 (広域型)



延べ5万人が訪れた子供スポーツ大会

1. 商店街の現況

立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ JR千葉駅と県庁の中間に位置し、商業及び業務地域に位置している。 ○ 07年10月にプラネタリウムや食料品店が入る複合施設「Qiball (きぼーる)」がオープン。区域内に総戸数436戸のタワーマンションが完成予定(09年3月)。
商圈と客層	<ul style="list-style-type: none"> ○ 千葉市内全域から買物に来るが、自転車の利用者が多い。 ○ 客層の中心は周辺の事業所に勤める会社員。 ○ 「Qiball (きぼーる)」オープン後は休日の親子連れが増加している。
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ カラー舗装等の街路整備、ホームページ、フリーマーケット、駐車場サービスシステム、花いっぱい運動などハード・ソフト両面にわたる取組を多数実施。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「千葉銀座商店街環境整備事業」 千葉市中心市街地活性化基本計画に基づき、今後、歩行道や植栽、ベンチ、街路灯などの整備を進める。 (2) ちば YOSAKOI 商店街代表として近隣の中学校生徒、先生を含め50名が参加した(07年)。ユニホームは商店街で負担し、参加した中学生にプレゼントした。 (3) 千葉県みんなでつくる商店街モデル事業(千葉パルコと共催) 親子で楽しむスポーツ大会を年3回開催。合計5万人を動員した(07年)。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハード・ソフト両面の取組で来街者、売上とも前年並みを維持できている。 ○ 現状空き店舗はなく、常時出店希望の問合せがある。 ○ 様々な活動を継続していることが賑わいの維持につながっている。

3. 地域貢献活動

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年、近隣中学校生徒の職場体験(2~5日間)を受け入れており、店頭での販売などを体験させている(07年度151名受け入れ)。 ○ 商店街清掃クリーン活動、イタズラ書き防止活動「みはる会」への参加。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣の中学校生徒にとって商店街への愛着につながると考えている。 ○ 地域住民とのつながり強化、商店街のイメージアップにつながっている。

《幕張ベイタウン商店会》

代表者名	会長 山根 治仁
所在地	千葉市美浜区打瀬 2-16 パティオス 17 番街 1F
電話番号	043-296-1258
設立年月	1996 年
街区延長	(幅員 8m)
構成員数	会員 80 名
立地形態	住宅団地 (近隣型)



ベイタウンオリジナル商品

1. 商店街の現況

立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ○海浜幕張駅徒歩 10 分の住宅地域内に位置している。 ○中庭のある「パティオス」と呼ばれる集合住宅群が、ヨーロッパ風の街並みを形成している。街区内は駐停車可となっている。
商圈と客層	<ul style="list-style-type: none"> ○買い物客の 8 割はベイタウンの住民であるが、残りの 2 割はベイタウンの外から自転車や車で買物に来ている。
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ○夏祭り、ホームページによる情報発信、ベイタウンブランドのオリジナル商品の開発など。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) ベイタウン夏祭り こども神輿や盆踊り、縁日などの定番メニューに加え、ジャズライブやふれあい動物園など様々な催しが開催される。08 年は 2 万人を超える人出があった。 (2) ウィンターフェスティバル ベイタウン内の通りの一部でクリスマスイルミネーションを行うとともに、住民参加のイルミネーションコンテストを行っている。 (3) ベイタウンラーメン オリジナル商品として 07 年から累計で 2 万食を販売した。 (4) ベイタウンおこげ 最新のオリジナル商品、09 年 5 月から販売の予定。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○各種イベントを開催し、ベイタウン内外に商店会をアピールしている。 ○周辺に商業施設が多く立地しているが、来街者数、売上とも維持している。 ○店舗の入れ替わりはあるものの、長期間空き店舗になることはない。

3. 地域貢献活動

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○千葉市の花いっぱい運動に参加 ベイタウン内に設置された 30 個のコンテナを商店会が管理することになり、周辺の小学校の生徒と花を植え、水やりなどの管理をしている。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○集合住宅に囲まれているため、騒がしいイベントには苦情が出るなど、イベントも試行錯誤が続いているが、住民との関係は着実に良くなっている。

《ゆりの木商店会》

代表者名	会長 林 光春
所在地	千葉市中央区松波 2-18-8
電話番号	043-251-9877
設立年月	1998年10月
街区延長	300m(幅員 10m)
構成員数	会員 27名
立地形態	一般商店街(地域型)



電柱地中化が進む街路

1. 商店街の現況

立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ○周辺人口は減少傾向で、高齢化が顕著であるが、千葉大生がアパートに住んでおり下支えしている。高齢者と学生が混在した町となっている ○大型店の出店は 30 年以上ない。この地域の土地は小さく区分けされており、大型物件を開発する余地は乏しい。
商圈と客層	<ul style="list-style-type: none"> ○松波町と轟町の一部の住民と、学生が中心である。 ○最寄品や買回品などの物販店は少なく、生鮮三品の店はない。飲食業と不動産業、理美容業などのサービス業が中心である。商店街の中で集客力のある個店は、喫茶店、スパゲッティ専門店、たこ焼き店などの飲食店である。
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス券を夏祭りなどのイベント時に不定期に配布している。 ○毎年7月に夏祭りを実施(ワゴンセール、地元有志による太鼓や歌などの披露など)。 ○クリスマス時期には、街路樹のクリスマスイルミネーションや各店でパイライトを点灯していたが、クリスマスイルミネーションは、道路の改修、会員の高齢化、予算等の関係から中断中。 ○花いっぱい運動(千葉市役所から調達した花苗を会員に配布し、店の回り、歩道の街路樹の植え込み等で栽培)。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)夏祭り 商店会単独で、商店会の舗道上約 200mで毎年実施。ワゴンセール、サービス券の配布、地元有志による太鼓や歌などの披露などを実施。 (2)花いっぱい運動 毎年実施。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○夏祭りの観客は約 500 人。太鼓や歌は地元有志の発表の場となっている。 ○花いっぱい運動は、自分の店の周りを飾り付け手入れを行い、美化に結びつけている。

3. 地域貢献活動

活動内容	○上記のほか車道及び歩道の電線地中化、バリアフリー化を進めており 09 年中に終了予定。完成した状況により新たな地域貢献活動に取り組む。
成果内容	○現在実施している事業は、夏祭りと花いっぱい運動であるが、道路の整備完成に合わせ、何が地域に貢献できるのかを商店会で協議中。

《大久保商店街協同組合》

代表者名	理事長 三橋 正文
所在地	習志野市大久保 1-16-11
電話番号	047-477-5151
設立年月	(法人化) 1956年
街区延長	630m (幅員 5m)
構成員数	会員 74名
立地形態	駅前商店街 (近隣型)



買い物客の休憩所「ゆーろどお休み処」

1. 商店街の現況

立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ○京成大久保駅から日本大学生産工学部へと続く駅前通りを中心とした商店街。 ○マンション、有料老人ホームの建設で、商店街周辺の人口は増加している。
商圈と客層	<ul style="list-style-type: none"> ○商圈は半径 500m程度で、徒歩と自転車の来街者が多い。 ○近隣の住民のほか、日本大学、東邦大学の学生・職員も多い。
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ○カラー舗装、街路灯、花壇等の整備。 ○イベント開催、ホームページの開設。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<p>(1) イベント開催 「観桜会」(4月)、「夏祭り」(8月)、「秋の収穫祭」(11月)が商店街の3大イベントとなっている。それぞれ近隣の大学や病院などと協働で実施しており、各イベントとも周辺住民を中心に大勢の人が集まる。</p> <p>(2) ゆーろどお休み処 後継者不在で空き店舗となっていた酒店の倉庫を、買い物客のための休憩場所として整備した。子どもから高齢者まで気軽に立ち寄れる場所として定着している。組合の会場場所や、イベント開催時の本部としても活用している。</p> <p>(3) 「大久保インターネット商店街」に協賛 習志野市の活性化調査研究事業としてスタートし、現在は有志により運営を継続している。ホームページ上で加盟店のクーポン券サービスも実施している。</p>
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントを継続することで、組合員同士のコミュニケーションが維持される。 ○イベント時は、近隣の2つの小学校の生徒約2,000人に100円券を配布、親子での来街を促しており、親子のコミュニケーションにつながる。

3. 地域貢献活動

活動内容	○小学生の社会科見学、中学生の体験学習、イベント開催時の高校生・大学生との協働など、近隣の学校の活動に協力している。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○学生ボランティアが商店街活動を手伝うなど学校との関係が良好。 ○今後は、文教と歴史の街として商店街の活性化につなげていく方針である。

《谷津サンプラザ商店街協同組合》

代表者名	理事長 佐々木 秀夫
所在地	習志野市谷津 5-5-4
電話番号	047-473-2212
設立年月	1979年11月 (法人化) 1993年1月
街区延長	100m (幅員 8m)
構成員数	組合員 25名
立地形態	駅前 (近隣型)



フェスタバザールの会場となる通り

1. 商店街の現況

立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ○京成電鉄谷津駅北側の駅前に立地。駅南側の谷津商店街と 04 年にエレベーター、エスカレーターが整備され、一体化している。 ○住宅地として人気があり、空き地に戸建てやアパートが建ち人口は微増している。転入者は 40 歳代であり、高齢化率を押し下げている。
商圏と客層	<ul style="list-style-type: none"> ○商圏半径は 2 km。特に利用が多いのは 1 km 圏内。駐車場がないため徒歩か自転車の利用者が多く、他所からの買い物客は引きつけていない。 ○物販店は 5 店と少なく、サービス業と飲食業が中心となっている。
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ○フェスタバザールを毎月開催。09 年 3 月時点で 184 回実施。 ○毎年 7 月に納涼風物まつりを実施。町会の盆踊り、秋祭り等に協賛。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<p>(1)フェスタバザール 毎月第 2 土曜日に開催。バザールと特設ステージを使ったイベントの組み合わせ。出店は公募で最大 20 店舗。ステージも申し込み制。併せて駅前に門松、梅、桜、バラ、菊、竹灯など (年間 6 回)、季節に合わせて庭園の飾り付けを行う。</p> <p>(2) 納涼風物まつり 毎年 7 月に実施 (累計 23 回)。模擬店(20 店)、朝顔庭園、まつり書作展示会、地域芸能祭 (谷津小学校管弦楽の演奏、3 年生の踊り等) を併催。</p>
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○フェスタバザールは、地域の人々のふれあいの場づくりを目標としている。地域住民から大変喜ばれており、大きな成果を得ている。 ○納涼風物祭りは 2 日間で 7 千人が来場。模擬店の運営 (売上) だけで祭り経費を賄っている。予算が無くても自助努力で祭りが成り立つ。

3. 地域貢献活動

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○谷津まちづくり推進協議会を設置してまちづくり活動を続けている。フェスタバザールもまちづくりのソフト事業の一環。 ○ソフト事業を重ねながらハード事業 (立体歩道橋等) を構築している。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「まちづくりの過程そのものがまちづくり」であるため、地域の人々と懇談するため協議会を立ち上げた。協議会では、地域のコアとして駅前広場の実現を目指して運動を展開。行政との協働が今後の課題。

《八千代台西口商店会》

代表者名	会長代行 宮田 慎吾
所在地	八千代市八千代台西 8-13-5
電話番号	047-485-5662
設立年月	1974年9月
街区延長	1000m
構成員数	31名
立地形態	一般(近隣型)



八千代駅西口一体に広がる商店街

1. 商店街の現況

立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ○京成八千代台駅西口周辺に面的に広がる商店街。 ○東葉高速鉄道が開通し、その駅周辺に大型ショッピングセンター(八千代緑が丘：イオン、村上：イトーヨーカ堂)ができたことにより、客が流れている。
商圈と客層	<ul style="list-style-type: none"> ○商圈は、八千代台西口後背地の住宅地住民と、バス等で来る駅利用者 ○周辺の住民については、高齢化が進んでいる。既に子供は独立して、余所に出ている場合が多く、購買力の低下につながっている。 ○バスで来る客では、高津団地の住民が多かったが、東葉高速鉄道の八千代緑が丘駅が近くにできたことから、駅前のイオンに客が流れている。また、工業団地の工場の送迎バスも、他駅に向かっている。
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体との協働で西口駅前（現在は近隣小学校）での夏祭り実施。公民館祭りへの参加、商店会研修旅行への参加呼びかけ等地元消費者との親睦を図っている。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)消費者交流研修旅行 毎年6月に商店会のメンバーと消費者とで日帰りバス旅行を実施している。 (2)歳末花プレゼント 毎年12月に、鉢植えの花を消費者にプレゼントしている。全会員の店舗で、1店舗30鉢、花を用意し、お得意さんに配布している。今年で3年目となる。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○八千代台西商店会の存在を知ってもらう機会としている。消費者と直接結ぶ事業を行わないと、商店会の存在を知らせる機会がなくなっている。

3. 地域貢献活動

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○夏祭りについては、主催する自治会に協力して金銭的な支援をしている。 ○街路灯を環境に配慮した省エネタイプの電球に交換した。 ○街路灯に広告スペースを設けて貸出を行う予定。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○できる限りいろいろなことに協力したいと考えているが、資金面や担い手の面で制約がある。

《サンロード五香商店街振興組合》

代表者名	理事長 秋元 安定
所在地	松戸市常盤平 5-21-2 202 号
電話番号	047-386-2929
設立年月	1992 年 4 月
区 延 長	400 メートル (幅員 6m)
構成員数	会員 70 名
立地形態	駅前 (地域型)



商店街アーケード入り口

1. 商店街の現況

立地環境	○新京成線五香駅西口より一直線に伸びた商店街。 ○周辺にはURの大規模団地やマンション、戸建住宅が立ち並んでいる。
商圈と客層	○買い物客のほとんどは五香駅西口を利用する周辺住民。 ○駐車違反取締の強化により車での来街者が減り、商圈は狭まった。 ○団地の住民の高齢化により、来街者も高齢者が多くなっている。
これまでの活動状況	○アーケード、カラー歩道、放送設備、ベンチ、フラワーポットなどの整備。 ○町内会、近隣商店街と共催の盆踊り大会、福引き大売出し等の開催。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1) 「わくわくサンカード」 商店街独自のポイントカード。ポイントは買物代金の支払いのほか、食料品や宝くじと交換、商店街が企画する日帰りバス旅行や落語寄席などの料金として利用できる。発行枚数約 3 万枚。 (2) 駐車無料サービス 商店街内のザ・プライス五香店、コインパーキング会社と提携し、それぞれの駐車場を商店街の買い物客が利用できるようにしている。 (3) 「わくわくカーニバル」(4 月) の開催 青年部によるイベント。ビンゴ大会や和太鼓演奏、フリーマーケットなどが行われる。毎回、周辺に住む家族が大勢参加する。
成果内容	○商店街・地域の活性化の取組が評価され、08 年度の「千葉のちから中小企業表彰」の商店街部門で受賞した。 ○日帰りバス旅行が好評で、募集開始から 15 分で定員 50 名が一杯になる。

3. 地域貢献活動

活動内容	○松戸市の春、秋のクリーンデーにアーケードの掃除を実施している。 ○組合が業者と契約し、ダンボール等の営業ゴミを有料で廃棄している。
成果内容	○買い物客が快適に買い物できる環境整備につながる。 ○現在は防犯カメラの設置を検討している。

《商店街振興組合 柏二番街商店会》

代表者名	石戸 新一郎
所在地	柏市柏 1-4-5
電話番号	04-7167-3131
設立年月	1965年4月 (法人化1991年3月)
街区延長	250m (幅員6m)
構成員数	会員44名 (内大型店4名)
立地形態	駅前 (広域型)



JOBAN アートラインプロジェクト柏のイベント

1. 商店街の現況

立地環境	○JR柏駅徒歩1分の商業及び業務地域のなかにある商店街。 ○商店街全体が全蓋式アーケードで覆われている。
商圈と客層	○商圈は茨城県南部～松戸にかけての広域商圈。 ○客層の中心は30代以下の若い層であるが、柏駅周辺のマンション建設の影響で周辺人口が増加しており、最近では主婦が増えている。 ○歩行者通行量は日曜：約3万5千人、平日：約3万2千人 (09年3月)
これまでの活動状況	○アーケード建替 (95年)、アーケード延伸 (04年) などの柏駅南口からの回遊性を高める取組。ホームページ開設 (00年) による情報発信。 ○「柏駅周辺イメージアップ推進協議会」主催のイベントに参画。「かしわインフォメーションセンター」の運営など取組多数。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1) 「まちづくり協定」の策定 いつまでも幅広い世代の人たちから「選ばれる商店街」を目指し、性風俗関連、消費者金融などの新規出店を禁止、建物外観についても周囲との調和を図る。 (2) 情報誌「パサージュ」発行 商店街の歴史や店舗紹介などを掲載し、インフォメーションセンターや主要店舗で無料配布した。当初3,000部作成し、1,000部を追加作成。 (3) 広報・宣伝活動 駅前歩行者デッキに面する大型ビジョンやケーブルテレビのCMなどで商店街の紹介VTRを流している。
成果内容	○にぎわいの維持に結びついている。 ○イベント中心から商店街のイメージアップ戦略へとシフトしている。

3. 地域貢献活動

活動内容	○「JOBAN アートラインプロジェクト柏実行委員会」の結成・資金支援期間中にライブペインティングや親子で参加できるワークショップなど、市内各地でアート関係のイベントを開催し、街全体のイメージアップを図る。
成果内容	○地域貢献活動は商店街の利益を度外視し、柏という街のイメージアップを第一の目標にしている。住民への貢献、まちづくりへの貢献と考えている。

《江戸川台駅前商店街振興組合》

代表者名	理事長 北条 正雄
所在地	流山市江戸川台東 2-22
電話番号	04-7154-3211
設立年月	1960年（1985年4月法人化）
街区延長	150m（幅員 8m）
構成員数	会員 54名
立地形態	駅前（近隣型）



高校生が手入れをしている花壇

1. 商店街の現況

立地環境	○東武野田線江戸川台駅東口より続く駅前通りを中心とした商店街。 ○つくばエクスプレス開業（05年8月）によって駅の乗降客数は増加しているが、商店街の来街者は増加していない。
商圈と客層	○商圈は利根運河と常磐自動車道で囲まれた半径 1.5 km程の地域。 ○周辺住民の高齢化につれて、来街者も高齢化している。
これまでの活動状況	○アーケード設置、カラー舗装、放送設備などの整備。 ○ポイントカード（江戸川台ふれあいスタンプ会）の導入。商店街内外の 47 店舗が加盟しており、買い物代金のほか、バス旅行や抽選会などに利用できる。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1) 納涼祭 毎年 8 月の納涼盆踊りをこれまでに 49 回開催している。露店のほか各店も売り出しをする。柏や野田からも商店街を訪れ、商店街が人で一杯になる。 (2) ホームページ 商店街からの情報発信の手段として平成 20 年 7 月に立ち上げた。イベントの様子やバス旅行など情報を頻繁に更新している。 (3) 「一店逸品」運動 多くの加盟店が参加できるように各店の「おすすめ品」としてスタート。継続することで「その店ならではの商品」へと洗練させていくことを目指している。
成果内容	○納涼祭は、地域から転出した人が時期を合わせて里帰りするなど、地域恒例のイベントとして周辺住民が楽しみにしている。 ○売上は急には増えないが、各種取組によって商店街が地域に定着している。

3. 地域貢献活動

活動内容	○季節ごとに駅前ロータリーの花壇の植え替えをしている。商店街が花を用意して、県立流山高校園芸科の生徒に植え替えを依頼している。
成果内容	○季節の花を見ることが、来街者の楽しみのひとつになっている。商店街や周辺住民と高校生との触れ合いの機会になっている。

《市川ビル商店会》

代表者名	会長 田平 和精
所在地	市川市市川 1-4-10
電話番号	047-325-2281
設立年月	2003年10月
街区延長	総床面積 27,000 m ²
構成員数	38名
立地形態	駅前(広域型商店街)



周辺商店会とも連携し「元気！市川会」結成

1. 商店街の現況

立地環境	○J R市川駅の北口に立地する市川ビル内のテナントで構成する商店会。 ○会員に大型店（ダイエー等）が立地するほか、周辺に大型店が複数立地。
商圈と客層	○商圈は駅周辺 1～1.5 km。ファンは 500m内。また、J R市川駅の乗降客。 ○このあたりには購買力のある人が多く住んでおり、客層は女性が 7～8割。日中は主婦、夕方は通勤帰りの客が多い。
これまでの活動状況	○利害関係者とのプラスサムゲームで共存共栄（共生）Win～Win の関係が拡大。 ○ビルオーナーとテナントが協働することにより付加価値を創造、人が集まるようにし、お互い利益が出るような活動を行う。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1)商業集積の魅力向上のための活動 営業しやすい設備や、従業員が働きやすい環境の整備など、商業集積の魅力向上のための活動を会の協議の下で進めている。 (2)元気！市川会での活動 市川駅前広場のシェルターの洗浄、掃除及びLED装飾（イルミネーション）の設置。 犯罪が割に合わないように、地域防犯カメラを 30 基以上設置。
成果内容	○市川駅前の魅力向上、安心・安全な街づくりにより、住む人、訪れる人が増加し、各テナントの売上増に結びつき、テナントの定着率の向上によりビル会社も潤っている。

3. 地域貢献活動

活動内容	○「元気！市川会」 市川駅周辺の 6 商店会（市川ビル商店会、アイアイロード商店会、真間銀座商店会、西通り商店会、三商会、ゆうゆうロード商店街）、町内会、地元企業、商工会議所、バス会社・タクシー協会、千葉商科大学、市川市、市川警察署などで構成。市川駅周辺の振興・整備や、安心・安全な街づくりなどを目的に活動する産官学民連携の会。
成果内容	○利害関係者が一堂に会することで、問題解決のスピードを高める。議事内容はすべて公表（月次報告書、街づくり瓦版速報を発刊）し議論の透明性を高めている。エリアマネジメント会社設立を目指しており、現在、官民で勉強会を開いている。

《船橋市本町通り商店街振興組合》

代表者名	理事長 中村 正直
所在地	船橋市本町 3-3-1
電話番号	047-422-7419
設立年月	1965 年 9 月
街区延長	700m (幅員 10m)
構成員数	会員 96 名
立地形態	繁華街 (広域型)



きらきら夢ひろばでの演奏

1. 商店街の現況

立地環境	○ JR 船橋駅南口より徒歩 10 分に位置している。船橋大神宮の門前町、宿場町として賑わってきた歴史ある商店街。 ○ 商店街近隣に相次いでマンションが建設され、周辺の人口は増加している。
商圈と客層	○ 買い物客の大部分は近隣住民で、徒歩又は自転車で買い物に来ている。 ○ 客層は周辺に住む主婦が中心。最近、シニア層が増加している。
これまでの活動状況	○ 歩道のカラー舗装、放送設備の整備。ポイントカード事業の実施、ホームページによる情報発信など。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1) 「ダイヤモンドポイントカード」 ポイントは、買い物代金の支払いのほか、ミュージカル、テーマパークのチケット、地域の特産品など毎月違うものと交換できる。発行枚数は 2 万 4,700 枚 (09 年 3 月)。 (2) 駐車券サービス サービス参加店舗で買い物や飲食をすると、商店街周辺 13 か所のコインパーキングを利用できる駐車券を受け取れるサービス。組合がコインパーキング会社と提携し、駐車券を割引価格で大量購入している。 (3) 「本町通りだより」の発行 組合員向けに活動報告や情報提供をしている。組合の情報を公開、共有することで、組合員の組合に対する信頼を高め、組合員同士の結束を強めている。
成果内容	○ 駐車券サービスについては個別の店舗で対応することは難しいため、加盟店から好評を得ている。買い物客からも便利になったと評価されている。

3. 地域貢献活動

活動内容	○ きらきら夢ひろば 忍者ゲームやメイク講座など、子どもから高齢者まで参加できるイベント。市内で活動する NPO と協働し、地域交流を目的に毎年春と秋に開催している。
成果内容	○ 商店街をマンションの新住民を含めて、街として住民同士が触れ合える場所、あいさつが交わされる場所にしていきたい。

《北習志野エビス通り商店会》

代表者名	会長 加瀬 武
所在地	船橋市習志野台 1-22-14
電話番号	047-465-2266
設立年月	1978年7月
街区延長	約 800m
構成員数	93 店舗
立地形態	地域型



商店街の目印 街灯とのぼり（旗）

1. 商店街の現況

立地環境	○北習志野駅前に立地。駅前には全部で4商店街がある。特徴は、一区画が大きいいため郊外型チェーン店が半数を占めていること。現時点で空き店舗は無い。
商圈と客層	○主に近隣住民。東葉高速鉄道開通後は、都内直通の利便性から新京成線の隣駅の住民も、自転車や自動車でくるようになり客足は非常に増えた。駐車場も確保できている。
これまでの活動状況	○共同事業は、街灯とのぼり（旗）の設置。 ○普通の商店街で見られるような季節ごとの催事は行っていない。 ○会員に物品販売業がほとんど無く、大手チェーン企業が多いため、共同売り出しやイベント等ではまとまりにくい。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1)「地域と共に生きる商店街支援事業」 2007年4月、当商店会の当時の空き店舗を、船橋市商店会連合会が県のモデルとして借り上げ、コミュニティ広場として開放した。 (2)商店会設立35周年事業 来年は商店会の名前でもある恵比寿像を建立しようかという案がある。
成果内容	○現在は、コミュニティ広場を、手作り放課後ルーム『キッズハウス・アニモッサ』として開設、好評を得ている。

3. 地域貢献活動

活動内容	○老人会に商店会が協賛して、行事に出席して話し相手になったりしている。 ○道路の清掃活動（自治会の一員として参加）。 ○女性や青少年の犯罪に巻き込まれることを防止するため、商店会会員店舗には所轄の警察署に連絡するよう指導している。
成果内容	○防犯や教育上、子供が地域に見守られる環境が必要と考えている。子育てや家族関係などの問題を扱う認定カウンセラーが、有料で放課後ルーム（学童保育）の対象とならない子供たちを預かっていた。

《JR佐倉南商店会》

代表者名	会長 包国 勝良
所在地	佐倉市大崎台 1-6-1 ホテルリッチタイム内
電話番号	043-486-7711
設立年月	1999年7月
街区延長	佐倉駅南口から半径 500m
構成員数	会員 32名
立地形態	駅前商店街（近隣型）



浸水対策として設置したグレーチング

1. 商店街の現況

立地環境	○JR佐倉駅南口の駅前立地。 ○街区はなく、駅前に面的に散在している。
商圈と客層	○商圈は、徒歩及びバスでJR佐倉駅に来られる範囲。鉄道で来る人は少ない。 ○客は、駅後背地の住宅地の住民、駅まで徒歩またはバスで出てくる住民、駅周辺の工場の従業員など。
これまでの活動状況	○駅周辺の側溝のふた(グレーチング：鋼材を格子状に組んだ溝蓋)の設置。 ○JR佐倉駅前では、住宅地や商店街が浸水することがあったので、その対策として、河川の流量対策(拡幅)と遊水池設置を働きかけた。 ○国道51号から市役所方面に抜ける国道の大渋滞対策。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1)市が進めている296号バイパスまでの都市計画道路の整備に協力。 (2)佐倉市に縁のある人について展示するミュージアムを計画中。
成果内容	○商店会活動はまちづくり活動と思っているので、前述したような地域が困っていることに対して、関係者に働きかけて、それぞれ解決に結びつけている。

3. 地域貢献活動

活動内容	○商店街が立地している大崎台1丁目自治会と、六崎区と協力して事業を実施。自治会と六崎区とは、コミュニティの場の提供として、駅前の公園を活用してバザーを共催。 ○駅前広場の花壇の手入れを行っている。年2回の植え付けと、水やり、雑草取りを担当し、ボランティアで構成される明るい社会づくり団体と共同して実施している。 ○駅前のセブンイレブンの前にエコステーションを設置した。缶を入れることにより地域通貨が当たる仕組みとなっている。
成果内容	○まちづくり活動として地域貢献していると考えている。直接商店会の個店の売りに結びつくものではないが、まちを良くすることが商店会の役割と考えている。

《八街駅南口商店街振興組合》

代表者名	代表理事 佐々木 敏夫
所在地	八街市八街ほ 237 番地
電話番号	043-444-0162
設立年月	2002 年 4 月
街区延長	4,000m
構成員数	65 名
立地形態	駅前(地域型商店街)



八街駅階段下のボックスショップ

1. 商店街の現況

立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ J R 八街駅の南口周辺に面的に広がる商店街、人口は微減傾向。 ○ 大型店(ジャスコ、カインズホーム、ケーヨーデイツー等)が郊外に立地。 ○ 後継者がいる店舗は3分の1。商店街活動ができる若い人が少ない。
商圈と客層	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大型店の郊外立地と、国道 409 号線の混雑により、商圈が狭くなり、中心市街地の商店街を利用する客は減少している。古くからの店は、遠隔地の固定客がいるが、それでも代替わりがあると客足が遠のいてしまう例が多い。
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法人化以降様々な事業に取り組んでいる。 ○ 有線放送は、設備の償却が済んだので無償で行っている。 ○ 3 年前から、冬場(12 月から 2 月)に駅前でイルミネーションを点灯。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<p>(1) J R 八街駅利用事業</p> <p>J R 八街駅の橋上化に伴い、階段下のスペースを市から借り受け、ボックスショップ「ぶらんみなみ」を設置。60 マスを一マス月額 2,700 円と 3,000 円の 2 段階で貸出。他に、メッセージカードボックス(無料)がある。</p> <p>(2) ギャラリー悠々(県補助事業)</p> <p>空き店舗を活用して、高齢者の憩いの場、無料の休憩スペースを提供。壁はギャラリーとして無料で貸し出している。椅子、テーブルがあるが、喫煙、飲食は不可。トイレ完備。将棋コーナーあり。</p>
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボックスショップの出店は、3 か月更新だが、ほぼ満員状態。利用者は主婦が中心。 ○ ギャラリー悠々も、展示スペースはほぼ埋まっている。書道展、写真展が中心。

3. 地域貢献活動

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏祭り、秋祭りには、それぞれ組合員が参加、協力している。 ○ 祭りに合わせて、落語会の開催等を実施している(2 年継続)。 ○ ギャラリー悠々では、町の文化活動を支援。 ○ 「ぶらんみなみ」では、メッセージボックスで町の情報を発信。 ○ A E D を「ぶらんみなみ」など 3 か所に設置予定。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い取り組みで、町の活性化の支援・集客活動をしている。

《佐原駅前商店街振興組合》

代表者名	理事長 平野 正義
所在地	香取市佐原イ 84
電話番号	0478-54-3433
設立年月	1985年2月
街区延長	600m（幅員 6m）
構成員数	会員数 50名
立地形態	駅前（地域型）



空き店舗を活用した「街の駅わいわい」

1. 商店街の現況

立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ JR佐原駅南口から、近年観光客の増加している「重要伝統的建造物群保存地区」に向かう途中に位置している。 ○ 若者の流出などで地域の人口は減少傾向にあり、高齢化が進行している。
商圈と客層	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物客の大部分は近隣の住民である。 ○ 休日はJRを利用する観光客の人通りが増えているものの、駅前商店街で買い物をする観光客は少ない。
これまでの活動状況	○ 街路灯、放送設備、カラー舗道の整備。公衆トイレ設置（現在、管理は市に移管している）。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「なつかしの夕市 ちびっ子花火大会」の開催 8月の商店街内の駐車場で開催している。子ども向け花火を配布するほか、屋台を並べ、近隣からは親子連れが500人程参加する。各店舗では目玉商品を用意し、特別価格にて販売する。 (2) 「青空市」の開催 毎月2回、商店街内の駐車場で開催している。近隣農家、市内の製造業などが、食料品を中心に出品する。 (3) 「街の駅わいわい」に出資 空き店舗を活用し、近隣の生産者がこだわりをもって作った農産物や加工食品を販売している。商店街が出資した地域のまちおこし会社が運営している。
成果内容	○ 「街の駅わいわい」は商店街内の生鮮食料品の店として貴重な存在で、開店前よりも多少買い物客が増えている。

3. 地域貢献活動

活動内容	○ 「チャリティーバザー」の開催 毎年12月に駅前通りと商店街内の駐車場で開催。バザーのほかにも農産物や食料品の販売などを行い、収益金は周辺の市・町に寄付している。
成果内容	○ 地域の人たちに商店街に親しみをもってもらうために実施している。

《多古町仲町通り商店会》

代表者名	会長 飯田 武之
所在地	香取郡多古町多古 2708
電話番号	0479-76-5465
設立年月	1967年7月
街区延長	150m（幅員 6m）
構成員数	会員 24名
立地形態	一般商店街（近隣型）



ギャラリーなかまち

1. 商店街の現況

立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ○町役場に近く、古くから町の中心部として栄えた商業地区。 ○近年では人口の減少、住民の高齢化が進んでいる。
商圈と客層	<ul style="list-style-type: none"> ○商圈は地元及び近隣地域であり、自家用車、自転車、徒歩での来街者が多い。 ○商店街は最寄品中心の店舗が多く、隣接する成田市内の大型店舗へ顧客が流出している。 ○商店の国道、バイパスへの移設やチェーン店の新規出店により、商店街内では空き店舗が増加し、人通りが少なくなっている。
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ○街路灯、共同駐車場の整備。 ○夏祭り（多古祇園祭）等、町のイベントへの参加。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<p>(1) 空き店舗活用（ギャラリーなかまち） 商店街の賑わいを取り戻すことを目的に、平成 19 年に空き店舗を改装し、地域の文化人やサークルが、気軽に作品を発表できる場所としてギャラリーを整備した。これまでに写真や絵画・パソコン画展のほか、和ぞうり・竹細工教室などが開催され、毎月 10～20 日程度の利用がある。</p> <p>(2) 共同駐車場 商店街の中心にあった金融機関の店舗跡地を駐車場として整備し、来街者が無料で利用できるようにしている。</p>
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ギャラリー開設より 1 年が経過し、ギャラリーと商店街の知名度が高まりつつある。 ○ギャラリーの運営により商店街内部の結束力が強まった。

3. 地域貢献活動

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○多古町、商工会主催の主要な祭りでは、運営などに人的な協力をしている。 ○夏祭り（多古祇園祭）にあわせ、餅（菓子）投げ等のイベントを実施している。 ○周辺の教育施設にはギャラリー使用料を無料にしている。
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ギャラリーを中心に、地域住民や教育施設との交流が生まれている。

《銚子銀座商店街振興組合》

代表者名	理事長 琴寄 久義
所在地	銚子市新生町 1-42-21 みなとやビル 2F
電話番号	0479-25-1666
設立年月	1966年 11月
街区延長	550m（幅員 15m）
構成員数	会員 63名
立地形態	一般商店街（地域型）



電柱が地中化された通りとモニュメント

1. 商店街の現況

立地環境	○ J R 銚子駅より徒歩 15 分、銚子漁協の近くに位置している。「飯沼観音」の門前町として栄えた歴史ある商店街。 ○ 郊外にイオンの大型ショッピングセンターの開店が計画されている。
商圈と客層	○ 買い物客の大部分は周辺の住民であり、高齢者が多くなっている。 ○ 日用品は、郊外や茨城県の大型スーパー、量販店と競合し苦戦している。
これまでの活動状況	○ 街路灯・花壇・モニュメントの設置、駐車スペースの確保、電柱地中化などハード面の整備が充実している。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1) 「銚子夜まつり」の開催 昭和 20 年代～50 年代まで開かれていた「ありの市」を復活させようと、市の補助金を活用し 06 年度より年 2 回開催している。「サンマ料理コンテスト」や「銀座レトロ」など毎回異なるテーマを設定している。 (2) ホームページ 存続が全国的な話題になった銚子電鉄のホームページにリンクを貼って以来、アクセス数が急増し、商店街としても更新頻度を多くしている。
成果内容	○ イベントを開催して商店街に来てもらうことが重要である。イベント中に千葉科学大学の学生が「レトロカフェ」を開設した空き店舗には、出店希望者からの問合せが来ている。 ○ 「銚子夜まつり号」を運行するなど、イベントに銚子電鉄の協力が得られるようになった。ホームページを見て遠方から商店街を訪れる観光客のほか、実際に商品を買に来るお客もでてきている。

3. 地域貢献活動

活動内容	○ 04 年にスタートした「黒潮よさこい祭り」の会場となっており、祭りの参加者に給水や軽食などの振る舞いを行っている。
成果内容	○ 市民同士のコミュニケーション、街づくりという観点から祭りに協力している。

《茂原榎町商店街振興組合》

代表者名	代表理事 白井 宗一郎
所在地	茂原市茂原 534
電話番号	0475-23-6882
設立年月	1950年(1969年12月法人化)
街区延長	600m(幅員 7m)
構成員数	会員 55名
立地形態	一般商店街(地域型)



コンテストが行われているフラワーラック

1. 商店街の現況

立地環境	<p>○茂原市の人口は毎年1千人程度減少している。液晶工場ができたが、派遣労働者が中心で、市原市からのバス通勤者が多く、地元の商業振興には結びついていない。</p> <p>○3割減歩の区画整理は全く進捗しておらず、短期的な投資にとどまり、身動きがとれない状況にある。</p>
商圈と客層	<p>○商圈は、専門店が長生郡一帯をカバーしている。日用品は半径2km以内程度である。客層は高齢化している。</p>
これまでの活動状況	<p>○02年2月、全蓋アーケードを撤去した。</p> <p>○商店街の一番のイベントは茂原七夕まつり(榎町商店街がメイン通りとなる)。08年で54回になる。人出は85万人で、県下でも単独のイベントとしては最大。</p> <p>○売り出しは春と中元シーズンに実施。主に福引き、共同チラシなど。クリスマスシーズンには、各店に飾り付けやイルミネーションを依頼。</p>

2. 特に力を入れている事業

事業内容	<p>(1)空き店舗活用 高齢者の交流や子育ての支援を目的としたふれあい拠点(榎町つどいのひろば)を開設(03年)。運営はNPO法人ナルク茂原(いちごの会)。</p> <p>(2)こどもあそびひろば 05年開始。毎年11月にこども向けのおもしろい遊びを提供。</p> <p>(3)フラワーラック 07年に周辺の3商店街と合わせて190基程度を設置。</p>
成果内容	<p>○ふれあい拠点は毎週4日間開館。パソコン、カラオケ、気功、健康麻雀、囲碁など高齢者向けの教室と習字、算数などの子ども向け教室を実施。</p> <p>○こどもあそびひろばは、こどもたち向けのイベント。親も一緒に来て楽しめる。ナルク茂原と市内3高校の有志にも協力を得ている。</p> <p>○フラワーラックは、利用促進を図るため09年3月から飾り付けについてお客に投票をしてもらうフラワーラックコンテストを実施。</p>

3. 地域貢献活動

活動内容	<p>○小学生の職場体験教室・・・7～8年前から開始。地元の茂原小学校の5・6年生が対象。毎年11月に1日(4～5時間程度)実施。各店舗2～3人受入。</p>
成果内容	<p>○体験をするお店を決めるために、小学生が商店街に来ることにより、商店街を知ってもらうことにつながる。</p>

《大原中央商店街協同組合》

代表者名	代表理事 土屋 利夫
所在地	いすみ市大原 7642 いすみ市商工会大原支所内
電話番号	0470-62-1191
設立年月	1982年5月（法人化）
街区延長	1,600m（幅員8m）
構成員数	会員81名
立地形態	駅前（地域型）



集会所等多目的に使える施設「おらげ」

1. 商店街の現況

立地環境	○JR大原駅前の県道大多喜・大原線沿いの南町・仲町・北町並びに隣接の新田に広がる商業集積。人口は減少傾向にあり、高齢化も進んでいる。
商圈と客層	○客層の中心は周辺に居住する主婦、家族連れ、高齢者。 ○商圈はいすみ市全体と考えられる。
これまでの活動状況	○共通商品券開始（92年）、「ほらやっさカード」（ポイントカード）導入（96年）。 ○空き店舗対策では、多目的施設としての活用例があるほか、代表理事自ら商店街の業種構成を勘案しながら空き店舗への転入事業者誘致に取り組んでおり、2店舗（飲食業）の営業開始につながる。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1)空き店舗対策事業（「おらげ」） 高齢者対策と空き店舗利用を模索するなかで、集会所、ギャラリー、休憩所などに幅広く活用できる多目的施設の「おらげ」を、00年3月にオープンした。 (2)ポイントカード事業 大型店対策とお客の利便性を追求した「ほらやっさカード」を96年4月に取扱い開始。カードはプリペイド機能とメッセージ機能をもつ磁気カード。
成果内容	○多目的施設「おらげ」は、現在18千人／年が利用しており、商店街の集客施設、高齢者の語らいの場、子供たちの勉強部屋としても受け入れられている。 ○ポイントカードの加入店舗は65店ほどで、カードホルダーは13千人。毎日約3千人が利用しており、ポイントの9割は商店街での商品購入に利用。

3. 地域貢献活動

活動内容	○大原ちょうちん時代祭り（イベント） 町のメイン行事である裸祭りを演出する提灯を使って、「郷土の文化や芸能を後世に」をテーマに97年7月に初開催した。
成果内容	○大原ちょうちん時代祭りは、毎回8～9千人を集客しており、イベント前にセールを実施するなどして盛り上げる工夫をしている。

《きよみ台商店街振興会》

代表者名	会長 中野 相台
所在地	木更津市清見台東 3-20-6
電話番号	0438-98-7366
設立年月	2000年6月14日
街区延長	1,500m
構成員数	61店舗
立地形態	近隣型



ゆるやかな坂道沿いに立地する商店街

1. 商店街の現況

立地環境	○木更津駅より徒歩 20 分前後、清見台地区（昭和 40 年代に宅地造成された住宅街）の主要幹線道路沿い。木更津市の人口の 6 分の 1 を占める地区。現在はイオンとアピタの大型 SC に挟まれた地区であり、生活道路として車の往来が激しい道路沿いに立地している。
商圈と客層	○清見台地区及びその近隣住民が大部分を占める。
これまでの活動状況	○まちなみ景観整備事業に関する活動（平成 18 年 6 月より）。

2. 特に力を入れている事業

事業内容	(1)まちなみ景観整備事業に関する活動 清見台地区は宅地造成後 40 年が経過しており、町並みが古くなってきている。またアクアライン開通や、大型商業施設のイオンとアピタに挟まれていることから、交通量が増大している。 当商店街と 7 町内会、2 小学校の PTA の各団体より署名を集めてまちなみ景観整備事業を請願した（平成 18 年 11 月）。 事業内容は、主要幹線道路における信号の設置や緑地帯の整備、歩道のバリアフリー化で総工費は約 3 億円を見込む。 計画立案に際しては、地元の木更津工業高専の先生や建築士等の専門家により町ぐるみで行っており、プレゼン資料は全て地元住民で作成できた。
成果内容	○活動の結果として、木更津市市議会にて審議の結果、趣旨採択されて整備事業として行われることが確実となった（平成 18 年 12 月）。一部の信号整備等（通学路）を優先して平成 21 年 3 月より開始。

3. 地域貢献活動

活動内容	○上記は商店街だけでなく、地元の町内会や小学校 PTA 等も参加してやっており、結果として地域全体で行っている活動である。
成果内容	○幅広い組織がかかわることにより、地域の一体感の醸成とともに、具体的な事業に結びついた。